

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスCHILULU（チルル）		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年3月17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年3月17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援	・日々の活動、個別訓練にて児童に合わせた内容の課題を行っている。	・保育士、理学療法士、作業療法士が常勤でいるため、それを活かした活動、個別訓練を児童に合わせて行っていけるようにしていく。
2	体験、イベントの充実	・毎日決まった活動にならないよう、運動・感覚あそび・おやつレク・外出レク・制作レクなど様々な内容の活動を行っている。 ・普段出来ない様な活動を取り組んでいる	・環境に合わせて子どもたちの出来ることを最大限発揮できるように活動内容を考えていく。 ・今まで体験出来ていなかったことなどこちらでどんどん経験してもらう。
3	迅速な対応	・保護者様からの相談や困りごとがあった際、お電話や事業所での面談を設け、聞き取りを行っている。 ・児童様の様子をおたよりやSNS,公式LINEにて発信している。	・保護者さまからご連絡がある前にこちらから問題提起して解決できることは出来るようにしていきたい。 ・おたよりは毎月発信している。SNSでの発信を今まで以上に増やしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族支援	・ご家族との交流会が作れていない	・保護者様とご利用児童様が参加できるような交流の場を検討し実施していく
2	個々の職員のレベルアップ	・全員が同じような支援が出来ていない	・職員間での会議する時間を増やし統一を図る ・外部研修等を積極的に受けながら、職員全体のレベルアップを図る。
3	異年齢の関わりを増やす	・年齢の離れた子どもたちが仲良く関われる環境作りが出来ていない。	・異年齢が仲良く関わるができるよう、余暇時間の遊びの提案や、活動などでやり方などを工夫して行っていく